

伸縮装置漏水対策工の作業手順書

(止水材注入・防水シート設置・排水樋設置)

制定・改定日 2024.2.19

項目	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 業内容及び規制内容の確認 作業人員及び車両配置の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 	<ul style="list-style-type: none"> 指示内容確認 安全打合せ書による確認及びKY活動 作業別安全チェックシートの活用
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止ネットを設置する。 エアにて遊間部に詰まった土砂等を除去する。 フェイスプレートに付着した浮遊錆をグラインダー等により除去する。なお、グラインダーによる除去が困難な場合は、ワイヤーブラシ等により処理を行うもの。 	<ul style="list-style-type: none"> 土嚢及びロープ等にて転倒防止を施す。 マスク、眼鏡、防振手袋等、作業に合った保護具を使用する。 エアノズルのバルブはロック式のボールバルブを使用する。使用後は速やかに所定の位置へ格納する。 センターライン付近の作業は、一般車に注意する。
止水材注入	<ul style="list-style-type: none"> 下面監視員を配置する。 マスキングテープにより伸縮装置周りの養生を行う。 フェイスプレート部遊間へのバックアップ材設置及び、プライマー塗布。 路肩部遊間へのバックアップ材挿入及び、コーキング材による隙間処理並びに止水材吸引防止を全面に施す。 	<ul style="list-style-type: none"> 2021.12.16発生、止水材漏れ事象の是正項目につき、必ず設置すること。 フェイスプレート部遊間へのバックアップ材は、丸棒状発泡ポリエチレン(10mm・15mm・20mm)を隙間無く詰め込み、プライマーを塗布(0.2kg/m²)する。 路肩部遊間へのバックアップ材挿入は、既設遊間幅の2倍とし、\square350mmの発泡ウレタンを加工するものとする。なお、コーキングの外観は、見た目良く仕上げること。 安全データシートを携行し対応する。
防水シート設置	<ul style="list-style-type: none"> シート貼付面の清掃及び突起物除去 プライマー塗布 シート貼付 	<ul style="list-style-type: none"> 保護具マスク、保護メガネの着用。 コンクリート表面に異物がないことを確認し刷毛、ローラー刷毛を使用し塗布する。 シートの重ね合わせ部は20mm以上をとること。 シート端部及び重ね合わせ部のシールを充分に行うこと。
排水樋設置	<ul style="list-style-type: none"> 樋設置 サクシオンホース設置 排水管設置 	<ul style="list-style-type: none"> 安全帯着用の徹底。 設置位置はなるべく伸縮装置に近い位置に設置すること。 流末は近くの排水溝または排水管へ接続すること。 垂れ流しはしないこと。 アンカー設置場所には合いマーキングをする。
片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した機材等トラックに積み込む。 施工ヤードの清掃実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 機材の積み忘れ物が無いよう確認する。 規制解除前、再度路面状況を確認する。

作業編成(標準)			機材	資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1	名	発電機	バックアップ材	マスキングテープ	ヘルメット	
現場監視員	2	名	コードリール	プライマー	接着剤	チョッキ	
作業員	2	名	ハンマードリル	止水材	コーキング材	警笛	
			オーバーハング車	樋		保護メガネ	
			攪拌機	排水管		防塵マスク	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 作業にあった保護具を着用する。
- 有資格者による機械作業を行うものとし、特に振動ローラーの取扱には注意する。
- 一般車への飛散防止は確実にを行う。
- センターライン付近の作業には特に注意し、一般車に正対した作業を行う。
- 手持ち式振動工具については、取扱を十分理解した上で使用する。

6.使用後の資機材は所定の位置へ収納する。

※一人作業の禁止